

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【公開番号】特開 2017-225608 (P2017-225608A)

【公開日】平成 29 年 12 月 28 日 (2017.12.28)

【年通号数】公開・登録公報 2017-050

【出願番号】特願 2016-123453 (P2016-123453)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 19 日 (2019.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を進行するための操作を受け付ける操作手段と、
始動条件の成立に応じて図柄を変動表示するとともに、遊技の結果に応じた停止態様で
停止表示する可変表示手段と、
前記可変表示手段を制御する可変表示制御手段と、
前記図柄の変動表示に応じて所定の演出を実行する演出実行手段と、を備え、
前記可変表示制御手段は、
前記始動条件の成立後に、前記始動条件とは異なる特定条件が成立することで前記可変
表示手段による図柄の変動表示を開始させ、
前記演出実行手段は、
前記操作手段の操作を指示する操作指示演出を実行可能であり、
前記始動条件の成立後であって未だ前記特定条件が成立していない期間である第 1 期間
では、第 1 態様による前記操作指示演出を実行し、
前記始動条件の成立後であって、且つ、前記特定条件の成立後である第 2 期間では、第
2 態様による前記操作指示演出を実行する
遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

以上の課題を解決するために、本発明の遊技機は、遊技を進行するための操作を受け付
ける操作手段と、始動条件の成立に応じて図柄を変動表示するとともに、遊技の結果に応
じた停止態様で停止表示する可変表示手段と、可変表示手段を制御する可変表示制御手段
と、図柄の変動表示に応じて所定の演出を実行する演出実行手段と、を備え、可変表示制
御手段は、始動条件の成立後に、始動条件とは異なる特定条件が成立することで可変表示
手段による図柄の変動表示を開始させ、演出実行手段は、操作手段の操作を指示する操作
指示演出を実行可能であり、始動条件の成立後であって未だ特定条件が成立していない期

間である第 1 期間では、第 1 態様による操作指示演出を実行し、始動条件の成立後であって、且つ、特定条件の成立後である第 2 期間では、第 2 態様による操作指示演出を実行する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

以上の構成によれば、始動条件とは異なる特定条件が成立することで可変表示手段による図柄の変動表示が開始され、始動条件の成立後であって未だ特定条件が成立していない期間である第 1 期間では、第 1 態様による操作指示演出が実行され、始動条件の成立後であって、且つ、特定条件の成立後である第 2 期間では、第 2 態様による操作指示演出が実行される。したがって、第 1 期間から第 2 期間への移行（図柄の変動開始）に伴い、操作指示演出の態様が変化するため、例えば操作指示演出の態様が変化しない構成と比較して、操作指示演出の態様が変化に富み、操作指示演出の面白味が向上する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、操作指示演出の面白味が向上する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0485

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0485】

本発明の遊技機は、遊技を進行するための操作を受け付ける操作手段（停止ボタン 25）と、始動条件（スタートレバー 24 の操作）の成立に応じて図柄を変動表示するとともに、遊技の結果に応じた停止態様で停止表示する可変表示手段（各リール 12）と、可変表示手段を制御する可変表示制御手段（S109）と、図柄の変動表示に応じて所定の演出を実行する演出実行手段（液晶表示装置 30）と、を備え、可変表示制御手段は、始動条件の成立後に、始動条件とは異なる特定条件が成立（ウェイト期間の終了）することで可変表示手段による図柄の変動表示を開始させ、演出実行手段は、操作手段の操作を指示する操作指示演出（指示演出 F）を実行可能であり、始動条件の成立後であって未だ特定条件が成立していない期間である第 1 期間では、第 1 態様（指示図像 SY の表示）による操作指示演出を実行し、始動条件の成立後であって、且つ、特定条件の成立後である第 2 期間では、第 2 態様（指示図像 SC の表示）による操作指示演出を実行する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0486

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0486】

以上の構成によれば、始動条件とは異なる特定条件が成立することで可変表示手段による図柄の変動表示が開始され、始動条件の成立後であって未だ特定条件が成立していない期間である第 1 期間では、第 1 態様による操作指示演出が実行され、始動条件の成立後であって、且つ、特定条件の成立後である第 2 期間では、第 2 態様による操作指示演出が実

行される。したがって、第 1 期間から第 2 期間への移行（図柄の変動開始）に伴い、操作指示演出の態様が変化するため、例えば操作指示演出の態様が変化しない構成と比較して、操作指示演出の態様が変化に富み、操作指示演出の面白味が向上する。